

平成23年度
第2回うるま市補助金審査委員会における意見、評価のまとめ

日 時 平成23年9月7日（水）午後2時～午後4時
場 所 本庁舎4階 第1委員会室
出席委員 照屋寛之、親泊正吉、渡久地博之、伊波洋、座間味正子、川野悦子、渡嘉敷節子、長浜豊、知念光憲
欠席委員 福原徹、伊波仁、田原和子、仲地一
事務局員 重島室長、徳山係長、瑞慶山

市社会福祉協議会運営補助金（生活福祉課）・・・・・・・・・・・・・・・・

「市社会福祉協議会運営補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

予算に対する人件費の割合が高く、事業費の割合が低い。この件は、前回審査での指摘から、改善されている様には見られない。更なる事業の効率化、職員数や給与の適正化、財政的自立を目指した事業型社協への転換を推進し、歳出バランスの適正化を図る必要がある。

歳出バランスの適正化については、その改善策やアイデアを広く募り、各種事業の推進、あるいは課題解決、市民協働に結びつけるなど、幅広い展開も必要と考える。

福祉事業は重要であることは認識しているが、担当部署においては委員会の意見を真摯に受け止め、対応していただきたい。

法人保育園運営助成金（保育課）・・・・・・・・・・・・・・・・

「法人保育所運営助成金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

市の交付要綱に基づいて適正に執行されており、問題ない。限られた予算の中でバランスのとれた補助を行い、今後も福祉の向上に取り組んでいただきたい。

市体育協会補助金（生涯スポーツ課）・・・・・・・・・・・・・・・・

「市体育協会補助金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

予算不足をチャリティーイベント等の自助努力で補っていかうという姿勢を高く評価する。スポーツ振興、青少年健全育成、市代表選手への助成は継続する必要がある、補助金の削減は適当でない。

補助金審査で「現状のまま継続」と評価しても、枠配分による予算編成において一律カットされる場合がある。単純に一律カットするのではなく、補助金審査の結果を考慮していただきたい。

地域活動支援助成金（企画課）・・・・・・・・・・・・・・・・

「地域活動支援助成金」の評価のまとめ

総合評価

新規事業のため実績がなく評価しない

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

協働のまちづくりを行うためには非常に意義深い事業だと評価する。広報周知活動を継続的に行い、参加団体を増やし、趣旨の浸透を図ることが重要である。

担当部署には立ち上げ段階の団体や組織が脆弱な団体などのフォローも積極的に行っていただき、団体育成にも力を入れていただきたい。